

ちちぶし すいしんこうどうほうしん 秩父市ユニバーサルデザイン推進行動方針

はじめに

ちちぶし 秩父市は、ひと やさしく、かんきょう やさしく、そして みらい 未来のために やさしい たす 助けあ
い ぬく 温もりのまち ちちぶ」づくりを進めるため、まちづくりに「ユニバーサ
ルデザイン」の かんが かんが かんが かんが かんが かんが どうにゅう どうにゅう どうにゅう どうにゅう
の 考 え 方 を 導 入 し ま す 。

ユニバーサルデザインってなんだろう

ユニバーサルデザインとは「すべての人のためのデザイン」という意味です。
「Universal (万人の、普遍的な)」と、「Design (設計、構想、計画)」という
2つの 英語 えいご が あ 合 わ さ っ た も の で、その アルファベットの かしら も じ 頭 文字 を と っ て
「ユーディー ユーディー よ よ 「U D」とも呼ばれています。

わたし わたし す す しゃかい 社会にはいろいろなひと ひと ねんれい せいいつ 年齢、性別だけでなく、こくせき 国籍、
しんちょう 身長、かぞくこうせい 家族構成、しょう しょう う む 障 がい の 有 無 など、ひと ひと ちが ちが も も
はそれぞれに違いを持っています。

いろいろな ちが ちが も も 違いを持っているすべての (できる かげ おお 限り 多く の) ひと ひと つか つか
やすく、わかりやすいように、せいひん せいひん かんきょう 製品や環境をはじめからデザインしておくこと、
それがユニバーサルデザインの かんが かんが かんが かんが かんが かんが 考 え 方 です 。

バリアフリーとの違い

ユニバーサルデザインとよく似た言葉に、「バリアフリー」があります。高齢者や障がい者に優しいまちづくりを進めるため、バリア（障壁）となっているもの（段差など）を取り除くという考え方です。

それに対して、はじめからいろいろな人のことを考えて、すべての（できる限り多くの）人にとって使いやすく、わかりやすいようにデザインすること、それがユニバーサルデザインの考え方です。

どちらも大切な考え方ですが、ユニバーサルデザインは、バリアフリーをさらに発展させたものといってよいでしょう。

バリアフリー（使えない人のために、特別な工夫をして使えるようにする）

- ・ 車いす用に別の入口を作る。
- ・ バスに車いす用のリフトをつける。
- ・ 階段の横に車いす用のスロープをつける。

ユニバーサルデザイン（はじめからみんなが使いやすいようにする）

- ・ 車いすでも楽に入れる広い入口を作る。
- ・ バスの床を低くし、車いすでもベビーカーでも簡単にに入れるようにする。
- ・ 車いすでも使えるエレベーターを設置する。

ユニバーサルデザインのまちづくり

ちちぶし 秩父市では、「こころ」、「まちづくり」、「ぎょうせい行政サービス」の3本の柱により、
ユニバーサルデザインのまちづくりをすすめます。

こころのユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインの考かんがえ方を多くの人ひとに知ってもらい、広ひろめることで、
おもいやりおものあふれる地域社会ちいきしゃかい、誰だれもが安心あんしんして暮くらせるまちづくりをすすめます。

そのため、ユニバーサルデザインに関する情かん報じょうほうを発信はっしんしたり、人材じんざいの育成いくせい
をすすめます。

まちづくりのユニバーサルデザイン

道路どうろや公こう共きょう施設しせつなどを整備せいび、改かい修しゅうするときなどは、ユニバーサルデザイン
に配はい慮りょし、すべての（できる限かぎり多おほくの）人ひとにとって暮くらしやすいまちづくり
をすすめます。

そのため、様さまざま々な利用者りようしゃの声こゑを取り入れられる仕組しくみづくりをすすめます。

行政サービスのユニバーサルデザイン

誰だれにとっても行ぎょうせい政せいサービスがスうムうズに受うけられるように、市役所しやくしょのユニバ
ーサルデザイン化かをすすめます。

そのため、案内表示あんないひょうじや発行物はっこうぶつなどを、誰だれにとっても利用りようしやすいものとな
るようくふうに工夫くふうします。

わたし なに 私たちには何ができるでしょう

「思いやりのあふれる」ユニバーサルデザインのまちづくりを進めるためには、ただ市が何かをするだけでは十分ではありません。市民の皆さんや企業・団体の皆さんにもユニバーサルデザインに関心をもっていただき、実践することで、まちぐるみでユニバーサルデザインの考え方を広めていきましょう。

こころのユニバーサルデザイン

市がすべきこと

- ・ユニバーサルデザインについての情報を発信する。
- ・ユニバーサルデザインの考え方を広める人材を育成する。
- ・ユニバーサルデザインに関する講演会を開催する。

市民のみなさんにしてもらいたいこと

- ・市の取組に関心を持ち、参加してみる。
- ・家庭や近所でユニバーサルデザインについて考えてみる。

企業・団体のみなさんにしてもらいたいこと

- ・市の取組に関心を持ち、参加してみる。
- ・社員や関係者の方に、ユニバーサルデザインの考え方に触れる機会を提供する。

まちづくりのユニバーサルデザイン

市がすべきこと

- ・ すでにある公共施設について、ユニバーサルデザインの考え方をもとに定期的に点検を行う。
- ・ 公共施設のユニバーサルデザイン化（改修や新設）を進める。
- ・ 道路、歩道、建築物など、都市全体のバリアフリー・ユニバーサルデザイン化を進める。
- ・ 整備、改修などを行う際に、事前に様々な利用者の声を取り入れられる仕組みづくり（パブリック・インボルブメントなど）に取り組む。

市民のみなさんにしてもらいたいこと

- ・ ユニバーサルデザインの考え方をもとに、まちを観察してみる。
- ・ 公共施設やまちづくりについて、ユニバーサルデザインの考え方をもとに意見を寄せる。

企業・団体のみなさんにしてもらいたいこと

- ・ 施設などを整備する際には、ユニバーサルデザインに配慮する。
- ・ 関係する法令（バリアフリー新法、埼玉県福祉のまちづくり条例など）を遵守する。

行政サービスのユニバーサルデザイン

市がすべきこと

- ・市役所など公共施設の案内表示（サイン）を、誰にとってもわかりやすいものにする工夫を進める。
- ・様々な窓口サービスについて、ユニバーサルデザインの考え方をもとに改善を進める。
- ・発行物（パンフレットや資料など）を作成する際は、ユニバーサルデザインに配慮する。
- ・市のユニバーサルデザインに対する取組が十分かどうか、定期的に点検し、改善に取り組み続ける。

市民のみなさんにしてもらいたいこと

- ・市の行政サービスに対して、ユニバーサルデザインの考え方をもとに提案したり、意見を寄せる。

企業・団体のみなさんにしてもらいたいこと

- ・市の行政サービスに対して、ユニバーサルデザインの考え方をもとに提案したり、意見を寄せる。

(付録)「ユニバーサルデザイン7つの原則」

「ユニバーサルデザイン7つの原則」は、ユニバーサルデザインの考え方を提唱したロン・メイス（1941～1998）（アメリカの建築家、ノースカロライナ州立大学教授）らによりまとめられたものです。

ユニバーサルデザインの考え方を実践に移す上で、大変参考になるものです。

身の周りのものごとについて、この原則に照らして考えてみましょう。

原則1 誰にでも公平に使用できること (Equitable Use)

誰にでも利用できるように作られており、かつ、容易に入手できること

原則2 使う上で自由度が高いこと (Flexibility in Use)

使う人のさまざまな好みや能力に合うように作られていること

原則3 使い方が簡単ですぐ分かること (Simple and Intuitive Use)

使う人の経験や知識、言語能力、集中力に関係なく、使い方がわかりやすく作られていること

原則4 必要な情報がすぐ理解できること (Perceptible Information)

使用状況や、使う人の視覚、聴覚などの感覚能力に関係なく、必要な情報が効果的に伝わるように作られていること

原則5 うっかりミスが危険につながらないこと (Tolerance For Error)

ついうっかりしたり、意図しない行動が、危険や思わぬ結果につながらないように作られていること

原則6 無理な姿勢を取ることなく、少ない力で楽に使用できること (Low Physical Effort)

効率よく、気持ちよく、疲れないで使えるようにすること

原則7 アクセスしやすいスペースと大きさを確保すること (Size and Space for Approach And Use)

どんな体格や姿勢、移動能力の人にも、アクセスしやすく、操作がしやすいスペースや大きさにすること

秩父市ユニバーサルデザイン推進行動方針

発行 秩父市 (〒368-8686 埼玉県秩父市熊木町8番15号)

電話 0494-22-2211 (代表) FAX 0494-24-7272

ホームページ <http://www.city.chichibu.lg.jp/>

企画・編集 秩父市 市長室 地域政策課

平成20年6月 発行